

# わいわい 通信



## お品書き

- グループホーム
- あったかほーむ
- あったか保育室つぼみ
- クラブハウスわらく
- 共生ホームきらく



平成から令和へバトンが渡り、10月に消費税が改定。前後して信楽を舞台とする朝ドラが始まりました。ラグビーW杯の生中継にかじりついた日々が懐かしく感じられるほど時の過行く速さに圧倒されます。

前号で災害についてふれましたが、この間、関東一円での水害が発生し、ますます日頃からの防災意識と対策の重要性を感じます。誰もが自分ごととして考え行動に移したいものです。

## あんしん なっとく じゅうじつ の生活



### NPOの活動報告 (2018年9月～2019年11月)

- 9月29日 保育所地域活動事業 (つぼみ農園・収穫祭)
- 10月14日 Myほーむ旅行 (～16日) 南花旅行 (18～19日)
- 11月 4日 糸賀一雄記念音楽祭鑑賞 (栗東さきら)
- 12月 2日 井の元川清掃活動
- 1月29日 あったか避難訓練 30日つぼみ避難訓練
- 2月 2日 法人全体新年会 (水口センチュリーホテル)
- 5月17日 第一回理事会
- 5月26日 総会 (じゅらくの里)
- 6月12日 三雲養護学校高等部見学
- 6月15日 みんなおいでやコンサート (雨山研修館)
- 7月 5日 虐待防止研修会・第三者委員会議
- 7月16日 第二回理事会
- 9月 3日 ダイトロン福祉財団・助成金贈呈式
- 10月17日 新ホーム(ましろ)地鎮祭

月1回 障がいホームサポート会議、わいわい運営会議、あったか・つぼみ運営会議  
隔月 わいわい運営推進会議、障がいホーム長会議

### 募集中

わいわい日中ボランティア。  
時間：おまかせ。  
月1回でもかまいません。  
お話相手、散歩・買い物  
などなど。



お問い合わせ NPO法人事務局

TEL 0748-60-2903 FAX 0748-60-2907

## 今年の夏 うれしかったこと いろいろ

理事長 中川 豊

今年の私の夏一番は、立命館大学 M 先生から入ったメールから始まりました。

M 先生は、これまでインターンシップの学生さんの世話をさせていただき何度か「あったかほーむ」にも来ていただいた方です。

そうしたご縁で、先生の授業で我が「NPO の活動の紹介をしてもらいたい。」との旨がメールで送られてきました。これは、NPO のことを若い人たちに知っていただく良い機会と思い承諾しました。

6月25日当日 200 人余りの学生さん達が入っている大講堂に案内され、「ともに働きともに生きる」の DVD を鑑賞してもらい、私のつたない話を聞いていただくことで約 1 時間を与えていただきました。

皆さん講堂の大スクリーンに見入っておられる様子が伺えました。

後で先生から学生さん達を書いた感想メモを持ってきて下さり見せてもらったところ、学部学科は様々でしたが、この事業・活動に強く関心を持っていただけたことが記されていて大変うれしく思いました。

また、今年も学校が夏休みの時期に多くの学生アルバイトの方・インターンシップの方等が「あったかほーむ」の活動に参加してくれました。その様子を見ていて若い人たちが子ども達の多様性に笑顔を絶やさずかかわってくれたこと、これもうれしいことでした。 最後にもう一つ、グループホームの M さんがボランティアで「あったかほーむ」の活動に加わってくれたことです。

ほーむの子どもたちにさり気なく寄り添ってくれ、子どもの気持ちを和らげてくれたこと、これは驚きと同時に感謝の気持ちでいっぱいです。

本当にありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。

どの出来事も NPO ワイワイあぼしクラブ の大事な財産です。



画) 中川 豊

### つぼみって楽しいな！！

保育スタッフ 本田・村島

早いもので家庭的保育室つぼみが開園してから一年半がたちました。国が待機児童の解消の一環として家庭的保育室事業を行い、現在つぼみでも定員いっぱいの5名の乳幼児が元気に登園しています。



乳幼児期は『人格の形成期』であり、生きる力の基礎となる“心の根っこ”を育む時期です。そのことを踏まえて、つぼみでも外でのびのびと体を動かして遊んだり、あったかほーむ・わいわい・近隣の保育園との交流を楽しんだり、遠足や映画会や野菜の収穫体験を行ったりして、心身ともにすくすくと成長できるように取り組んでいます。わいわいさんで毎月開かれている合唱ボランティア『夢』さんのコンサートにも子ども達は喜んで参加しています。子ども達は地域の未来を照らす光であり、かけがえのない存在です。保育士としての役目をしっかりと果たして、子ども達が笑顔で楽しく過ごせるように日々努力していきたいと思えます。



## あんしん なっとく じゅうじつ の生活

理事（新任） 奥野 修司

2001年、子どもからお年寄りまで、年齢の差や障がいのあるなしに関係なくすべての人たちが、住み慣れた地域で、尊厳を持って、助け合いながら、共に暮らせる地域や社会が実現することを目的に「NPO ワイワイあぼしクラブ」が設立されました。

わたくし自身、設立前から今日まで「NPO ワイワイあぼしクラブ」活動に関わり、多くの方々に出会い、事業を通じて「学べる」機会に恵まれた事に対して大変感謝しています。

設立時から「地域密着・小規模・多機能・双方向」の考え方を取り入れ、また普通さと専門性の両方を備えた「街かどケア」の考え方を大切に活動されていることは、社会福祉協議会で働くわたしにとって「地域福祉活動の推進」に大きな影響力をいただいています。

わいわい通信に毎回、掲載している言葉「あんしん」、「なっとく」、「じゅうじつ」の生活すべて満たせば人は「幸せ」な生活が送れます。

「NPO ワイワイあぼしクラブ」に関わるすべての方（利用者も支援者）がいつも大切にしたい言葉です。

そのためにも自己決定の尊重し、個性がかがやき一人ひとりの能力の発揮ができ、生活の継続性を意識しないといけないと思います。

引き続き、立場は代わりましたが「NPO ワイワイあぼしクラブ」が大切にしてきた取り組みを継続していき、みなさんと共に新たに無限な可能性を秘めた事業に取り組んでいきたいです。



“「あぼし」” がどこでも通用するように

理事（新任） 福岡 秀夫

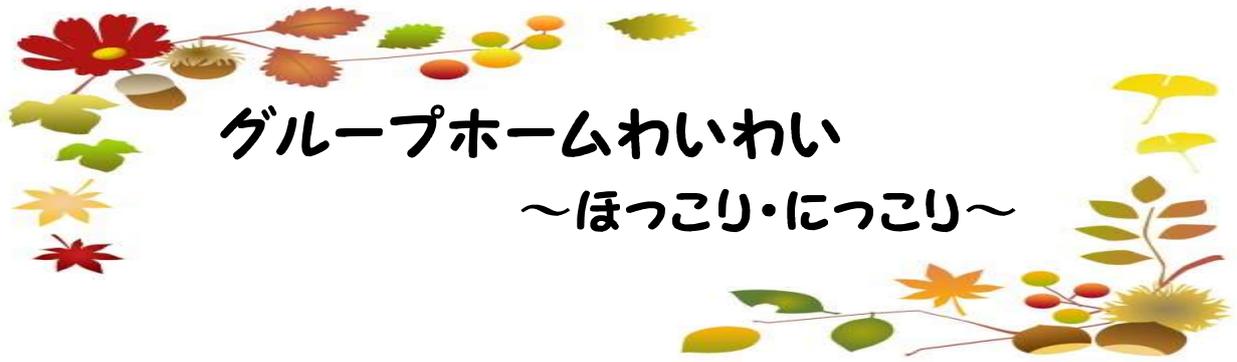
私がNPOワイワイあぼしクラブに関わらせていただくようになったのは2005年で、スタッフとしては一旦離れましたが、会員として何かお役に立ちたいと思い、2011年から夜間・早朝巡回支援をさせていただくようになりました。

それをきっかけに、2015年から南花、法人事務局での勤務を経て、現在あぼし相談支援センターで相談支援業務をさせていただいております。

センターの業務は、地域で暮らす障がいのある人などが、自立した生活を営むことができるようお手伝いするもので、困難ケースの対応には厳しいものもありますが、実施した支援により、「作業所に行けるようになって嬉しい」や、「自宅でヘルパーさんに入浴介助をしてもらえてありがたい」などのお言葉をいただいた時は、何事にも代え難い喜びを感じ、誇りを持つことができます。

また、最近では関係機関や相談者の間でも、「あぼし」の誰々と名乗るだけで、どこの誰か認識していただけるようになったことも、喜ばしいことと思っています。

今後も紆余曲折があると思いますが、当NPOの理念を基本に、相談支援センターの役割を果たしていきたいと思っています。



# グループホームわいわい

～ほっこり・にっこり～

「グループホームわいわいで働いて」石田静子

私がわいわいで働かせていただくようになって、もうすぐ4年が経ちます。ずっと朝と夜の短い時間の勤務でしたが、この春から昼間の時間帯の勤務にも入らせていただくようになり、初任者研修も受けさせていただきました。それにより、この仕事に対してのやる気と誇りが増すのと同時に、いろいろなことを知って逆に自分がこの仕事をしていいのか？できるのか？という不安と恐れもわいてきている今日この頃です。お年寄りとのかわり、炊事や掃除洗濯など果てしない家事、その他いろいろなことを常に同時進行でそれぞれがこなす中、自分は今何をしたらいいのかと...日々うろうろしている状態ですが、菜々美さんをはじめ、本当に尊敬できる（すてきなあとと思える）スタッフのみなさんから学び、成長してゆきたいと思っています。ここに生きて暮らし、お世話をさせてくださっているお年寄りのみなさんにも日々感謝しています。みなさんどうぞこれからもよろしくお願いします。

そして余談ですが…私は歌がとても好きで、歌がお好きな入居者様と歌で交流できることをとても感慨深く感じます。今は亡きA様のお気に入りの曲で、口伝えに教えていただいた「マリネラ」という歌があります。A様はどんなに元気がなくてもこの歌を歌いだすといつも目を輝かせておられました。ほかにもたくさんのお歌と一緒に歌わせていただいたのですが、この曲だけは原曲を聞いたことがないので、今はもう記憶だけ…覚えているうちにここに歌詞を載せさせていただければと思います。



「マリネラ」(A様のうたより)

マリネラ 君の手を取りて 踊る嬉しさよ 夢のひとときよ  
さあ… 歌えや 踊れや 今宵は二人の宴だ 飲み干し交わして 歌うは恋の歌  
マリネラ 君の手を取りて 踊る嬉しさよ 夢のひとときよ





### インフォメーション

#### <きらくの開設>

家庭的保育事業所つばみとあぼし相談支援センターが同居するクラブハウス「わらく」お隣の旧医師住宅南棟を湖南市から譲り受けたのが今年の4月。1階が有料老人ホーム、2階が障がい者グループホームの「多世代共生ホーム」として整備するにあたり、ダイトロン福祉財団から助成金をいただきました。

更に安全性を高めるため、スプリンクラー設備を整え、この12月に開設することとなりました。近くにお立ち寄りの際は、是非、お越しください。



## 「女学校」

田舎の兄から電話があった。「今日はおかさんの命日よ。手は合わせてね。」と弟へのやさしい心遣いであった。

母はわずかの田を耕しながら、農閑期には土方（土木作業）に出て3人の息子を育てた。

その母は、私たちに対して一度も勉強しろとは言わなかった。ただ、時々思い出した様に「おかさんはね、女学校に行かれんやったとよ。貧乏やったけんね。」と哀しげに話してくれた。

私もあまり好きではなかった勉強に、一時とはいえ集中して力を入れられたのは、母のくやしさを晴らしたいというおもいがあったからだと思っている。

卒業後の私は、母の願いであった「学校のせえんせえい」にはなれなかったが、障がいのある人や認知症を抱えるおとしよりと、共に働き暮らして48年が経った。

「よかったね。みなさんのお陰ばい。感謝せえんばね。」と草葉の陰から諭す母の顔が浮かんだ。（み）



[NPOワイワイあぼしクラブ 関連事業所の住所・連絡先]

●あったかほーむ いしべ宿(しゅく)

〒520-3107 湖南省市石部東七丁目5番9号

TEL/FAX 0748-77-6723

E-mail: npowai@ex.bw.dream.jp



●高齢者グループホーム わいわい

〒520-3107 湖南省市石部東七丁目5番25号

TEL/FAX 0748-77-5741

E-mail: gh-waiwai-shiga@gaia.eonet.ne.jp



●障がい者グループホーム すずらんホーム

〒520-3108 湖南省市石部南七丁目9番20号

TEL/FAX 0748-77-4274

E-mail: qpmx33521@nike.eonet.ne.jp



●障がい者グループホーム ホワイトハウス

〒520-3108 湖南省市石部南六丁目9番29号

TEL/FAX 0748-77-3130

E-mail: pskm67097@ares.eonet.ne.jp



●障がい者グループホーム 南花(さざんか) & ひまわり棟

〒520-3108 湖南省市石部南五丁目4番4号

TEL/FAX 0748-77-4791

E-mail: wac-sazanka@dream.jp



●障がい者グループホーム Myほーむ

〒520-3108 湖南省市石部南五丁目5番36号

TEL/FAX 0748-60-1157

E-mail: vpkv25205@ares.eonet.ne.jp



●クラブハウスわらく(あぼし相談支援センター・あったか保育室つぼみ)

〒520-3107 湖南省市石部東七丁目3番18号

TEL/FAX 0748-60-6643

E-mail:(相談) wac-soudan@ares.eonet.ne.jp (つぼみ) tsubomi@dream.jp



●多世代共生ホーム きらく

〒520-3107 湖南省市石部東七丁目3番20号

TEL/FAX 0748-77-5741 (GHわいわい)

E-mail: gh-waiwai-shiga@gaia.eonet.ne.jp



●法人事務局(ほっと館 2階)

〒520-3107 湖南省市石部東二丁目1番36号

TEL 0748-60-2903/FAX 2907

E-mail: houjin-jimukyoku@dream.jp



<ONE TEAM>2018(平成30)年度は、お年寄りや障がいのある方のホーム入居者さんと、支援スタッフの確保が大きな課題でした。今年度は、それらの課題を抱えたホームの入居者さんも増えて一息つくとともに、男性スタッフが事務部門と支援現場で新たな戦力として加わりました。日々葛藤しながらも、“安心・充実・納得”を感じていただけるサービスの提供を追求し、何事にも“ONE TEAM”で臨みたいと思います。(せこ)

〈編集後記〉わいわい通信を心待ちにしてくださっている皆さまには大変お待たせをいたしました。本号より編集委員を務めさせていただくことになりました。よろしくお願いたします。(城)

〈お願い〉  
会員の皆さまへ。ひき続き、新規加入者(正会員・賛助会員)のご紹介および、今年度の会費の納入をよろしくお願いたします。